

ときめき インタビュー



プロフィール
1962年、越谷市生まれ。越ヶ谷小・中央中を経て、春日部高校に入学。弁護士を目指して中央大学法学部に進学。95年に弁護士登録し、98年法律事務所を開設。第二東京弁護士会に所属。

「越谷は子どもを育てるのに良い環境で、都内の事務所への通勤にも便利。子どものころからの思い出があちこちにありま

すし、ほかの土地で暮らすことを考えたことはないですね」と尾崎さん。

子ども時代の尾崎さんは、野球が大好きで、仲間とチームをつくる活発な少年だったそう

です。弁護士を志したのは高校3年生のとき。進路を決めるときに「これまで思いつきり勉強したことがなかったので、大学ではとことんやって最難関の司法試験にチャレンジしよう」と法学部に進学を決めました。が、司法試験の厳しさにいったんは挫折。

「昨年、子どもが通う地元の小学校に招かれ、お話をする機会がありました。小学生に弁護士の仕事をわかりやすく伝えるのはなかなか難しかったのですが、自分にとっても貴重な経験でした」

「弁護士の仕事は、法律理論の探求に加えて気迫が大切」と尾崎さん。「もうダメかなと思っ

法律や人と向き合う厳しい毎日、 越谷で家族と過ごす休日が楽しみです。



弁護士

尾崎

毅 (おだき・たかしさん)

テレビの法律情報エンターテインメント番組『ザ・ジャッジ!』（フジテレビ系・毎週金曜日午後7時57分から放映中）で、「顧問弁護団」の1人として法律解説を行う尾崎毅さん。越谷で生まれ育ち、弁護士となって活躍している今も市内に居を構える「生っ粋の越谷市民」です。そんな尾崎さんに弁護士という仕事、越谷への想いを伺いました。



昨年12月に大袋北小で行われた「1/2成人式」での講演の様子

40代になり、弁護士としての脂の乗る時期を迎えた尾崎さん。法律や人と向き合う厳しい仕事の毎日を、越谷の自然と人が支えていることは間違いないようです。